



ケンセツが描くミライのハナシ



ケンセツが描くミライ *

みなさんに伝えたいこと

建設＝ケンセツは、私たちの生活を支える道路や河川、公園、住宅などを造る

重要な仕事ですが、実際にどんな仕事をしているか、みなさんは知っていますか？

私たちはケンセツにいろいろな立場でたずさわり、

ケンセツが描く地域のミライの姿を考えながら、力をあわせて仕事をしています。

そんなケンセツの魅力が皆さんに知られていないのはもったいない！

そんな想いから北海道建設部の若手職員が意見を出し合って一つの冊子を作成しました。

皆さんこの冊子を見てケンセツに興味を持つことで、

明日からまちの景色が今までと違った新たなものに感じられるとうれしいです。

ケンセツミライJUNIORを
制作した仲間たちより



北海道のミライを建設るのは
皆さんです

北海道 建設部長 白石 俊哉



北海道は、四季の変化に富んだ豊かな自然と美しい景色に恵まれた北の大地です。

また、この北海道で育まれた歴史や文化に国内外から高い関心が寄せられ、多くの方々が訪れています。

近年、誰もがスマートフォンを持ち、気軽にAIを使うことができる「デジタル社会」への転換や、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を地球全体でゼロにする「カーボンニュートラル」の取組の加速など、社会を取り巻く状況は大きく変化しています。

私たちは、こうした社会の変化を見据えながら、北海道の価値や魅力をさらに高め、将来にわたって誰もが安心して快適に住み続けられる北海道をつくるため、道路や河川、住宅などの「ケンセツ」に日々取り組んでいます。

この冊子には、ミライを担う皆さんに「ケンセツ」の素晴らしさを知ってほしい、そして北海道のミライをつくる力になってほしいという思いが込められています。

さあ、私たちと一緒に輝き続けるミライに向かって進んでいきましょう。



Contents

ケンセツが描く北海道のミライ	03
北海道のミライを描くケンセツの仕事	05
道路ネットワークを整備する	07
流域治水の取り組み	09
ケンセツ+ゼロカーボンでミライへ	11
歴史的価値をミライへ	12
ケンセツ+デジタルでミライを創造	13
プロジェクトの紹介	15



ケンセツが描く北海道のミライ



ケンセツとは？

住みやすい北海道を実現するために、各地でさまざまな建設＝ケンセツが展開されていますが、みなさんも知らないことが多いのではないでしょうか？この冊子では、北海道で取り組まれているケンセツの今とミライを紹介しています。見て感じて、興味がわいたら、みなさんのまわりのケンセツを探求しに、出かけてみてください。

北海道のミライを描くケンセツの仕事



道路は、人や物の移動に欠かせないものです。私たちの暮らしを守り、北海道の「食」や「観光」といった魅力を最大限發揮できるよう、安定的な物流と広域の観光を支える道路の整備を進めています。



▲俱多楽湖公園線(メタルロード)(登別市)



街路は、市街地の中の道路です。通学や通勤などの自動車の交通を円滑にするほか、散歩や祭り・イベントなどで人々が集まる、にぎわいのある市街地整備を進めています。



▲駅前通(木古内町)



河川には、洪水による被害の防止、水道や農業などの水の利用、自然環境の保全や水辺の憩いの場などの役割があります。大きな被害が予想される市街地の河川などを優先して堤防などの整備を進めています。



▲茂漁川[もいざりがわ](恵庭市)



砂防には、土砂災害からみなさんの生活を守る役割があります。災害が発生した箇所や学校、高齢者施設などが立地する箇所を優先して、土砂の流出を抑制するための砂防えん堤の整備や、がけ崩れを防ぐための対策などを進めています。



▲オチウシナイ川3号堰堤(利尻富士町)



海岸には、海水浴やマリンスポーツなどの憩いの場、様々な生物の生息域や生態系を保全するなどの役割があります。高波や津波などによる浸水被害から沿岸地域における住民の生命や財産を守るため、堤防や護岸などの整備を進めています。



▲霧多布海岸(浜中町)



下水道は、都市の雨水や汚水を集めて処理、排出する施設です。トイレが水洗化されていない地域の整備のほか、大規模地震や大雨などの水害に備えた施設の強化などを行っています。



▲マンホールの蓋(下水施設の一例)



公営住宅は、全ての人が健康で文化的な生活を営めるよう、自治体などが整備する住宅です。古くなった住宅をまとめることによるコンパクトなまちづくりの推進や、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、断熱・省エネルギー性能に優れた道営住宅などの整備を推進しています。



▲道営住宅しらかば南団地(苫小牧市)



都市公園は、都市環境の改善、健康増進やレクリエーションの場などの様々な機能をもち、都市の防災性の向上にも役立ちます。利用者のニーズに応え、魅力ある公園となるよう取り組んでいます。



▲オホーツク公園(網走市)



北海道は水産物の生産量が日本一であり、世界的な需要の増加が見込まれるため、輸出先国のニーズなどに対応し、衛生的に出荷できるよう、岸壁に屋根をつけるなど、漁港や漁場の整備を推進しています。



▲常呂漁港(北見市)



道内、道外への空の移動を支えるため、安全かつ円滑に航空機が運航できるよう、空港の維持管理や、脱炭素化への取組、滑走路や誘導路の改良などを推進しています。



▲オホーツク紋別空港航空灯火のLED化